

令和6年度第2回 田辺市地域公共交通活性化協議会 会議録

日 時	令和7年1月22日（水）午前10時30分から午前11時まで
場 所	田辺市役所1階 多目的ホール
出席者	22名（ウェブ参加5名、代理出席7名）
欠席者	8名
議 事	1. 開会 2. 議事 協議 第1号 田辺市地域公共交通計画（素案）について 3. その他 4. 閉会
1. 開会	
2. 議事 協議 第1号 田辺市地域公共交通計画（素案）について	
議長	前回の協議会において、本市の地域公共交通の課題の整理を行うことができました。 これを踏まえ、今回は、来年度から5年間の田辺市の地域公共交通の在り方やその実現に向けて具体的にに取り組むこと、計画の進捗状況をチェックし、より良い方向へ改善していくための方法等について、事務局案をたたき台として皆様にご協議いただき、田辺市地域公共交通計画（素案）としてとりまとめて、パブリックコメントにつなげていきたいと考えております。 忌憚のないご意見を賜りますよう、よろしくお願いいたします。 それでは議案のほうに進ませていただきます。 まず、議案第1号の田辺市地域公共交通計画の素案について、事務局より説明をお願いします。
事務局	【田辺市地域公共交通計画（素案）に基づき説明】
議長	計画策定の背景・目的から、本市の地域公共交通の課題、計画の基本理念・基本方針、施策メニュー、計画目標、計画推進に向けた取組ということで、計画書としての形が整ってきたところです。 ただ今の説明について、皆さまからご意見やご質問をいただいていきたいと思えます。 いかがでしょうか？ 全体を通しての質問ですとか、委員の皆さまを通して共有しておきたいこと等、ご自由にご発言いただければと思います。
A委員	前回の協議会で、バス業界の人材不足について市の広報に取り上げていただきたいということを申し上げました。 残念ながら、その際快諾はしていただけなかったが、今回、39ページに書いていただいているように「地域における人材やサービスの確保」というなかで、行政からの市民に対する積極的な広報という形で記載いただいているので、ぜひ、これを実現していただけるようお願いしたい。

事務局 議長 全員 議長	もう1点、23 ページに外国人観光客アンケートということで、昨年10月にアンケートを実施されています。このなかで、田辺市までの交通手段については鉄道が8割という記載がありますが、これはアウト・イン両方で8割と理解してよいでしょうか。 また、素案に記載があったように、一部観光客がピーク時に停留所で乗り切れないという状況が実際に起こっています。 これを解消するためには、例えば、この地域にどのくらいの観光客が来ているといったデータを前もっていただけるような形が必要だと思います。 これは難しいことだとは思いますが、田辺市を含めて本宮地域に宿泊客等がどの程度いるのかを事前に把握できるよう、行政で国や県と連携していただければ、バス会社のほうでも準備など対応ができると思います。 課題が分かっていることなので、これを積極的に解決するために、データを前広に共有していただければありがたいという、要望になります。 1点目の広報紙での発信の件については、従来からもご指摘をいただいておりますが、これまでは公共交通の利用促進する特集もできていません。 観光の特集の中で、JRやバスを利用してという表記はあるものの、これまでこうした取組ができておりませんでしたので、次期計画の中で、ぜひ公共交通の利用促進に係る特集も組んでいきたいと考えています。 もう1点が外国人観光客のイン・アウトの交通手段ですが、東京もしくは関西空港からこられたお客様の多くが、田辺市だけではなく、日本中を回るなかでJRパスを利用して来られる方が多いと聞いています。 アウトについても、空港までのアクセスについてはJRパス（ジャパン・レール・パス）を利用される方が多いと聞いています。その中で、県とも連携しながら、こういったルートで来られるのか、また、こういった時間帯に多いのかといった情報について、できるだけ提供できるような取組も進めたいと考えています。 他にいかがでしょうか。 60 ページ程度のかんりの分量ですが、たくさんご意見をいただいた方がより良い計画書になると思います。一部差し換えはありましたが、事前にお届けして、お目通しをいただいていると思います。もし他にご意見がございましたら、素案として確定したいと思います。いかがでしょうか。 先ほどのご意見・ご要望はしっかり対応いただくとして、事務局から出されている田辺市地域公共交通計画（素案）につきましては、これで確定とさせていただきますと思いますが、よろしいでしょうか。 意見なし ありがとうございます。
3. その他	
議長 事務局	その他といたしまして、事務局からは何かございませんか。 はい。 熊野御坊南海バス様より情報提供があると伺っています。 熊野御坊南海バス様、お願いいたします。

B 委員	昨年 12 月 9 日に、弊社のバス車内の支払方法にクレジットカードのタッチ決済を導入するというについてプレスリリースをさせていただいています。 現在のバス車内での支払方法は、現金または PayPay が使えます。日本人の方は PayPay の利用も微増で、外国人の利用も増えています。 一方で、現金での支払いについては、インバウンドの方にはなれない日本円での支払いということで、一人当たりの対応に長時間を要しています。 そのために、1 つの停留所で 5 分から 10 分程度降車するのに時間を要してしまうこともあり、地域住民の方々にご不便をおかけしていることもあります。 その課題を抜本的に解消する目的で、この度クレジットカードのタッチ決済による支払を選択しました。 こちらについては、設備投資に一定の費用が掛かるため、国土交通省が公募する「交通 DX・GX による経営改善支援事業等」及び「交通サービスインバウンド対応支援事業」に応募し採択いただきましたので、2025 年春からの導入に向けた準備を進めています。 クレジットカードについては、VISA, JCB, アメリカンエクスプレスや中国の銀聯カードなど、国際ブランドはほぼ網羅しています。 外国人の方については、自国でクレジットカードが利用できる国がかなり増えており、そのサービスを日本国内でも提供するという事は、インバウンドに対するバリアフリーにもなると考えています。 何とか年度内にサービスが提供できるよう対応を進めており、具体的なサービス開始日が決まりましたら、改めてプレスリリースいたします。 このサービスの提供にあたり一番重要なのは、弊社のバス路線でこういうサービスを使えるということを地域住民に知っていただくことです。 これは当社だけの情報発信力だけでは限界があるので、行政・関係団体にぜひご協力を賜りたく思います。以上です。
議長	採択おめでとうございます。行政や関係団体への支援要請もありましたので、ぜひよろしくお願いします。 他に何かありませんか。
C 委員	2 点あります。1 点目は、先ほど協議が終わった計画素案について、事前に事務局にはご相談させていただいていますが、P. 43 の構成や P. 61 の目標についてです。 本来、目標というのは、将来目指すべき姿の実現に向けて、5 年後にはこういう状況になりたいというのが記載されていて、その状況になっているかを客観的に判断するものとして、具体的な数値目標があるべきではないかといった構成について相談させていただいています。 大きくは変わらないと思いますが、構成については若干修正していただく可能性がありますので、委員の皆さまにも共有させていただきたいと思います。 2 点目は、計画素案 P. 35, 36 に記載していただきますが、令和 6 年 7 月に交通空白解消本部が設置され、12 月の第 3 回会議で今後の方針をとりまとめたところです。 方針の中では、何らかの対応が必要な地域をリストアップし、交通空白の解消に向け総合的な後押しを国のほうでさせていただきます。 その期間としては、令和 7 年度から 9 年度の 3 か年を集中期間として、予算を含めて施策展開をしていくこととしています。 また、同時並行で、11 月には「交通空白解消」官民連携プラットフォームを発足させたところで、官民連携や地域間連携、モード間の連携を推進するものとなっていますので、市も含めてプラットフォームへの参加をご検討いただきたいと思います。 以上です。

議長	ありがとうございます。他にいかがでしょうか。
D委員	バスを運行している中での地域からの要望なのですが、田辺市の神島台南の交差点があります。 明光バスは白浜方面から右折して医療センターに向かって上がっていきませんが、信号に右折の矢印がありません。 田辺市から白浜方面は下りになっていて交通量が多く、観光シーズン中は赤信号で右折せざるを得ない状況となっています。 この春か夏前に、周辺に新しい大きな施設もできるという話もあり、交通量が多くなることが予想されるので、信号で右折矢印をつけていただけるよう現場から報告がありましたので、この場で報告させていただきます。
議長	具体的な問題点が指摘されておりますので、ぜひ、今後ご協議をお願いします。他、いかがでしょうか。それでは事務局のほうから何かございますか。
事務局	最後に今後のスケジュールについて、ご案内いたします。2月3日（月）からこの計画素案を公表し、パブリックコメントを開始いたしますので、素案に反映させるべきご意見のある方は1月29日、来週の水曜日までにご連絡いただけますと幸いです。 その後、パブリックコメントを経て、3月中旬に協議会を開催させていただき、計画の策定が完了となる見込みです。 軽微な修正等につきましては事務局にて対応させていただきます。 以上です。
4. 閉会	
議長	ありがとうございました。これにて、令和6年度第2回田辺市地域公共交通活性化協議会を閉会します。長時間にわたり、ご審議いただき、誠にありがとうございました。